

## 1. 収入の増減別にみた支出の変化—収入減には食費・交際費を減らして対応？

2007年と2008年の間で、世帯収入（9月の手取り月収）が増加した世帯・減少した世帯別に、支出がどのように変化したかを調べた。対象とした世帯は、夫婦とその子どもからなる世帯である。今回は収入の2割の増減の世帯までに限定して分析を行っている（増加世帯が204世帯、減少世帯が156世帯）。

収入が増えた世帯では総支出が1.9万円の増加、減少した世帯では1.7万円の減少となっている。収入が増加した世帯では生活基礎支出は3千円の増加、自由裁量支出は1千円の増加となっている。収入が減少した世帯では生活基礎支出が4千円の減少、自由裁量支出は3千円の減少となっている。収入の増減に対して、支出もあわせて増減している。また、こづかいについても、収入が増加した世帯で3千円の増加、減少した世帯で2千円の減少と、収入の増減に連動していることがうかがえる。

細目別にみた場合、食費と交際費の変動が大きい（図表は省略）。食費については、収入が増加した世帯では2.8千円の増加、収入が減少した世帯については1.9千円の減少である。交際費については、収入が増加した世帯ではほぼ変化がないのに対し、収入が減少した世帯では2.9千円減少していた。収入の減少に対しては、食費や交際費を減らすことで対応していることがうかがえる。

図表 1-1 収入の増減と支出の変化

### 収入が増加した世帯

|       | (万円) |      |        |        |      |
|-------|------|------|--------|--------|------|
|       | 総収入  | 総支出  | 生活基礎支出 | 自由裁量支出 | こづかい |
| 2007年 | 36.4 | 26.1 | 11.1   | 2.7    | 3.3  |
| 2008年 | 39.5 | 28.1 | 11.3   | 2.9    | 3.6  |
| 変化額   | 3.1  | 1.9  | 0.3    | 0.1    | 0.3  |

### 収入が減少した世帯

|       | (万円) |      |        |        |      |
|-------|------|------|--------|--------|------|
|       | 総収入  | 総支出  | 生活基礎支出 | 自由裁量支出 | こづかい |
| 2007年 | 41.7 | 29.1 | 12.3   | 2.6    | 3.7  |
| 2008年 | 38.4 | 27.8 | 11.9   | 2.3    | 3.4  |
| 変化額   | -3.3 | -1.7 | -0.4   | -0.3   | -0.2 |

生活基礎支出 食料、家賃・地代・住宅の修繕、電気・ガス・水道、家具・家事用品、保健医療

自由裁量支出 衣類・はき物、教養・娯楽、交際